



福岡県移動農業大学校方城分校

ほうじょう

備品寄贈のお礼

この度次の方々から、第三保育園並に第三保育園に対し、それぞれテレビ一台宛御寄贈戴きました。紙上をかりて厚く御礼申し上げます。

朝部庄太郎様
コモノ電化センター様

香典返し寄贈のお礼

- 一 故李千代殿の逝去により平山晶氏より方城町社会福祉協議会に寄贈していただきました。
 - 一 故徳蔵殿の逝去により富田徳太郎氏より方城町社会福祉協議会に寄贈していただきました。
 - 一 故サト殿の逝去により有松弘氏より方城町社会福祉協議会に寄贈していただきました。
 - 一 故百合子殿の逝去により藤野太社氏より方城町社会福祉協議会に寄贈していただきました。
 - 一 故八千代殿の逝去により川島榮次郎氏より方城町献血推進協議会に寄贈していただきました。
- 以上香典返しとして有意義に使わせていただきます。

方城町の人口

7月1日現在

総人口	8,082人
男	3,900人
女	4,182人
世帯数	2,107

発行所 福岡県田川郡方城町
印刷所 文化印刷有限公司

わたし達の方城町

方城町長 中島義章



町政を担当して

昨秋、運を得て、町政を担当、以来十カ月になります。私が毎日毎日の行政の中から知り得たこと、また感じたことを率直に申述べて町民の皆さんの御批判を仰ぎ、御指導をお願いしたいと思ひます。

町の財政は?

何はともあれ先立つもの町の財政はどんな状態でしょうか。町の財源が豊かであれば、町の政治は同一つ出来ません。そして甚だ残念なことに、町の財源は非常に貧しい一語につき

五月三十一日で昭和四十二

年度会計の出納を締切りました。約二千万円、水増し特別会計で約二千五百万円の赤字が出ました。原因はいろいろあります。かつては一万八

千人もいた町人口が八千人になった。この人口減に基づく、町税の著しい減少、そして国から交付される地方交付税の大幅な減少。にもかかわらず予算規模は昔のままであるし、町職員の数も昔のままです。

「何故町職員を減らさないのか?」誰でもが持つ疑問なのです。また人件費に占める予算が総予算の四三%にも及び、当然の質問なのです。一、炭鉱職者の激増は、失業化して生活保護者の激増となり、その為の調査申請事務は、家庭相談、生活指導と共に増加し、毎月始めに支給される保護費(毎月約一千万円)の収受、配分、保管、清算、受渡、追給処理等々社会係の事務量はここ数年にして数倍も激増し、更に増加する傾向にあります。

町の職員は減らされるか?

町人口が減少したらそれに見合うだけ事務量は減らさるだろうし、職員も少なくしたいが、これが常識的な考え方です。

赤字と配債

「町がナンボ借金しても俺達が払うわけじゃない、俺達には関係ないことだ。ナンボでも借金して俺達が住みいい町にしてくれ」これは或町民の意見でしたが、皆さんはどうお考えになりますか? 成程一つの理屈ではありますが、実際問題としては大変難しいことです。町の借金は国が許可した事業にのみ認められます。即ち国が認めない借金は出来ない定めになっております。そして現在方城町が借

入、産炭地振興の波に乗って、過去の繁栄を取戻すべく余念なくされた町当局は産業開発を企画し、産業基盤の整備促進を志し、工場誘致に奔走し、農業振興を企図せざるを得なくなり、歴史的宿命とは言い乍ら、黒ダイヤを謳歌した時代には全く考えられなかった莫大な努力と財源とを強いられています。

一、道路、水路、溜池等公共施設の鉱害復旧事業は、緊就、失対事業を加え、町営住宅の企画設計推進等、これまた町制を施行した当時の土木課の事務量に数倍するでしょう。

一、町財政の貧困は、必然的に経営合理化を強要し、やりくりによる財源捻出を推進せざるを得なくなりました。特殊才能を必要とする職員を集めて新しく財政課を設けたのであります。以上思いつくままに書上げただけでも相当の事務量の増加でございます。これも貧しさが故の矛盾です。かつて夢見た無税の町々が実現するならば、町の職員数は半分にしても充分になるでしょう。

忘れられた町

国は、エネルギー革命の結果生じた炭斜陽化に処して、産炭地振興臨時措置法を制定して、産炭地町村の産業開発を奨励し、その衰微を防止しようとして来ました。そして或特定の市町村にとってはかなりの効果を発揮しております。

「町がナンボ借金しても俺達が払うわけじゃない、俺達には関係ないことだ。ナンボでも借金して俺達が住みいい町にしてくれ」これは或町民の意見でしたが、皆さんはどうお考えになりますか? 成程一つの理屈ではありますが、実際問題としては大変難しいことです。町の借金は国が許可した事業にのみ認められます。即ち国が認めない借金は出来ない定めになっております。そして現在方城町が借

赤字と配債

税務課

りている町債は、約一億二千万円になっており、毎年元利共約九百万円ずつ返済して行っております。(一般会計のみ) 勿論町が勝手に作った赤字の借金は許可されません。然し、どんなに財政状態が悪かろうと、どんなに赤字が多かろうと町民のため、町のためにやらなければならぬ事は何としてでもやらなければならない、今の方城町内にはそのやらなければならない事が沢山あります。そしてそれを可能にするものは、節約とやりくりの技術だけです。

一、産炭地振興の波に乗って、過去の繁栄を取戻すべく余念なくされた町当局は産業開発を企画し、産業基盤の整備促進を志し、工場誘致に奔走し、農業振興を企図せざるを得なくなり、歴史的宿命とは言い乍ら、黒ダイヤを謳歌した時代には全く考えられなかった莫大な努力と財源とを強いられています。

一、町財政の貧困は、必然的に経営合理化を強要し、やりくりによる財源捻出を推進せざるを得なくなりました。特殊才能を必要とする職員を集めて新しく財政課を設けたのであります。以上思いつくままに書上げただけでも相当の事務量の増加でございます。これも貧しさが故の矛盾です。かつて夢見た無税の町々が実現するならば、町の職員数は半分にしても充分になるでしょう。

忘れられた町

国は、エネルギー革命の結果生じた炭斜陽化に処して、産炭地振興臨時措置法を制定して、産炭地町村の産業開発を奨励し、その衰微を防止しようとして来ました。そして或特定の市町村にとってはかなりの効果を発揮しております。

「町がナンボ借金しても俺達が払うわけじゃない、俺達には関係ないことだ。ナンボでも借金して俺達が住みいい町にしてくれ」これは或町民の意見でしたが、皆さんはどうお考えになりますか? 成程一つの理屈ではありますが、実際問題としては大変難しいことです。町の借金は国が許可した事業にのみ認められます。即ち国が認めない借金は出来ない定めになっております。そして現在方城町が借

赤字と配債

税務課

りている町債は、約一億二千万円になっており、毎年元利共約九百万円ずつ返済して行っております。(一般会計のみ) 勿論町が勝手に作った赤字の借金は許可されません。然し、どんなに財政状態が悪かろうと、どんなに赤字が多かろうと町民のため、町のためにやらなければならぬ事は何としてでもやらなければならない、今の方城町内にはそのやらなければならない事が沢山あります。そしてそれを可能にするものは、節約とやりくりの技術だけです。

一、産炭地振興の波に乗って、過去の繁栄を取戻すべく余念なくされた町当局は産業開発を企画し、産業基盤の整備促進を志し、工場誘致に奔走し、農業振興を企図せざるを得なくなり、歴史的宿命とは言い乍ら、黒ダイヤを謳歌した時代には全く考えられなかった莫大な努力と財源とを強いられています。

一、町財政の貧困は、必然的に経営合理化を強要し、やりくりによる財源捻出を推進せざるを得なくなりました。特殊才能を必要とする職員を集めて新しく財政課を設けたのであります。以上思いつくままに書上げただけでも相当の事務量の増加でございます。これも貧しさが故の矛盾です。かつて夢見た無税の町々が実現するならば、町の職員数は半分にしても充分になるでしょう。

忘れられた町

国は、エネルギー革命の結果生じた炭斜陽化に処して、産炭地振興臨時措置法を制定して、産炭地町村の産業開発を奨励し、その衰微を防止しようとして来ました。そして或特定の市町村にとってはかなりの効果を発揮しております。

「町がナンボ借金しても俺達が払うわけじゃない、俺達には関係ないことだ。ナンボでも借金して俺達が住みいい町にしてくれ」これは或町民の意見でしたが、皆さんはどうお考えになりますか? 成程一つの理屈ではありますが、実際問題としては大変難しいことです。町の借金は国が許可した事業にのみ認められます。即ち国が認めない借金は出来ない定めになっております。そして現在方城町が借

赤字と配債

税務課

江戸時代の地租

税金シリーズ (2)

このように坪刈りをしてその出来高に応じて租税をきめる方法がとられた。この方法は徳川氏の直轄地で行なわれた方法であるが各藩では畝引検見(たとえば一石五斗とれる田について出来高を量つて見て一石三斗しかとれないとすれば、その差二斗を減するという方法)または抜き検見(収穫の悪いところだけを量るといったり方である)が行なわれた。この様な検見は、まず村において、それぞれの土地の出来高によって土地を五等級又は七等級に区分し、一筆毎に内見(ないみ)帳を作成して役人に検見して貰うもので、この内見帳には、土地の等級を、出来高の一番よいところを五合毛(け)、出来高の劣るに従って四合毛、三合毛、二合毛、一合毛、五斗毛、每斗と分類し、この分類に従って記載した。実際の役人の認定は、各等級の土地について坪刈りをして行なったが、必ずしも厳格にやっていたわけでもないようである。このようにして調査した結果を各個人毎に地租を課する額は、それぞれ毎に地租の合計額を指示し、村方において内見帳の出来高の等級にあん分して定めたのである。(四頁へ続く)

前回に述べた大開検地は豊臣時代に全国の検地は完了せず、徳川時代になって完了したのである。世が徳川氏に移り、色々政治のあり方も変わってきたが、税についても大分改革されたようであるけれども根本的にはあまり変わってはいない。先ず、この時代になってから、土地の階級区分をおおよそ上上田、上田、中田、下田、下下田に分け、地租を課することができないような土地を見付田(または見取地)といった。この時代の検地は大開検地よりも綿密に行なわれ、田、畑、宅地はもろろんそれらのため料亭に繰出して腕に二十万石近くの予算を費す例になっておりましたが、昨年末の議会からこれを廃止して冗費の節約に先協力して下さっており、町執行部としても、議会の協力義務に負けないように一生懸命節約して財政の健全に努力しております。

町民と共に歩む!これが私の政治姿勢です。そのために出来るだけ多くの皆さんと話し合うことを望んでおります。

毎週一回木曜日を町長面会日と定めて、町民の皆さんのお話をお聞きすることにしております。特別の差支えがない限り、在庁してお待ちしておりますので、どんな些細なことでも結構です。さらにお出で下さい。又、特に希望のある當会には私の方からお伺いして、常会の皆さん方と膝を交えて話し合いを行ない、その中から色々な問題を解決して行くように心がけております。お申込み下さい。

書中見舞 大変暑さが酷しくなりました。どなた様もよくお体にお気をつけて下さい。この紙上をかりて、暑中の御見舞を申し上げます。

議員談話 田川各町は議員才費に月一万五千円という額を定め、夫々値上げを致しまして、方城町の議会だけは二万円の据置きです。これも全議員さんが町の将来を憂い、町民の福祉を考へ下さった結果です。また、定期議会終了日には、町民の福祉を考へ、下された結果です。町民の福祉を考へ、下された結果です。町民の福祉を考へ、下された結果です。

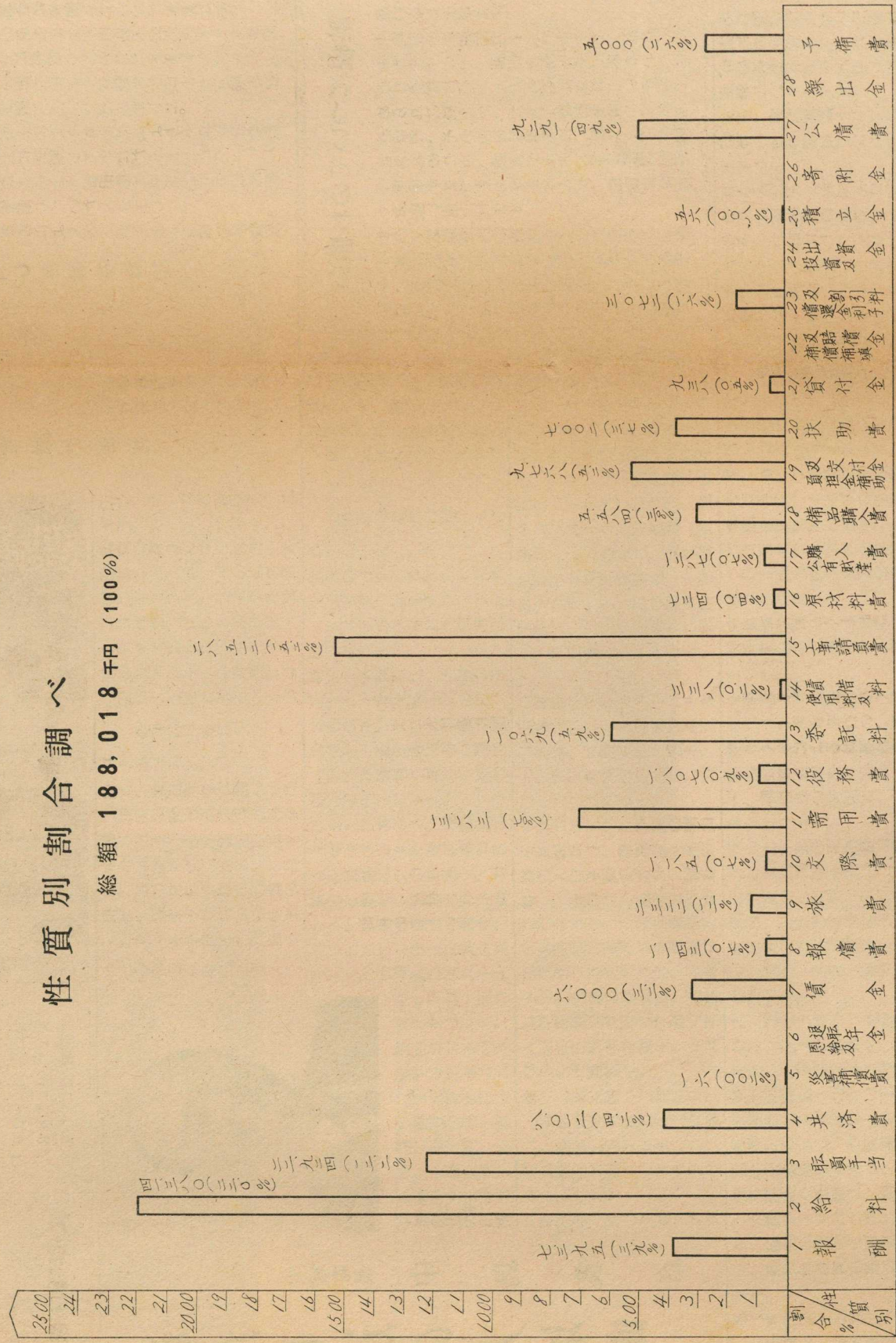
年次計画 先立つものがあるとならうと、是非やらなければならないこと、やりたいことが数々あります。道路整備 公営住宅建設 農業振興、植林育成 常盤農舎の解消 学校改革 工場誘致 汚物(ゴミ、し尿)処理場建設 下水道整備 等々

やりくり算段して捻出した僅かの財源で、これらの事業を消化するには年次計画しかありません。只今、年次計画を検討しております。何れ町議会とも研究討議して、町民の皆さんに発表することにしております。

明るく豊かな町作り この数年間が方城町にとって一番苦しい時です。明るく豊かな町作りのためには、町民の皆さんが一致協力するしかありません。徒らにハバツ争いをしたり、個々の利益のみのために、

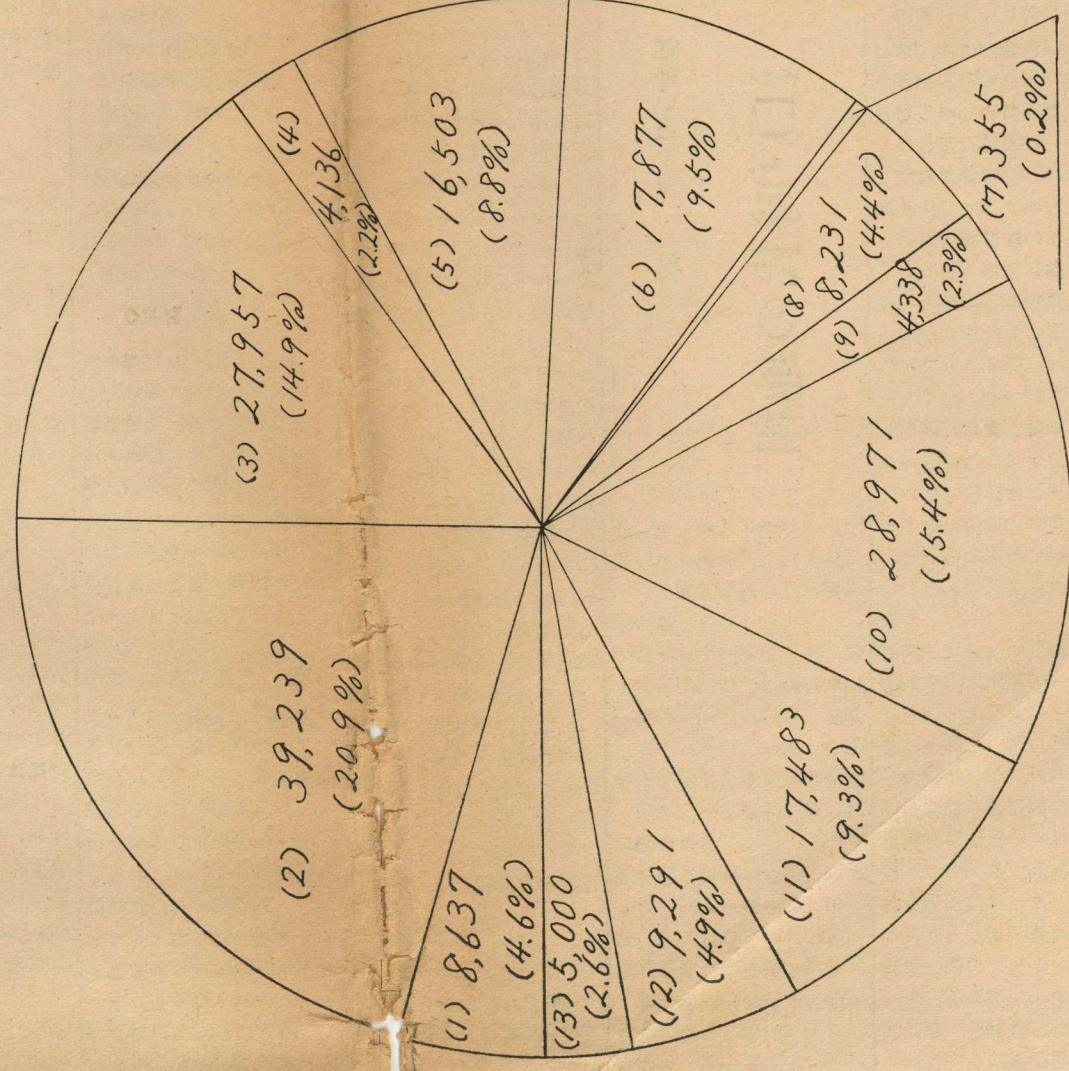
昭和43年度歳出状況調べ

性質別割合調べ 総額 188,018 千円 (100%)



目的別割合調べ

総額 188,018 千円 (100%)



昭和43年度財政白書

三月の定例町議会において、昭和四十三年度予算が審議可決されました。

一般会計の予算総額は一億八千八百二十万八千円、特別会計、国民健康保険事業二千七百六十七万五千円、町立病院会計五千八十二万四千円、水道事業会計二千三百六十九万九千円となっています(別記を御覧下さい)

一般会計の予算額については前年度にくらべて二千四百三十一万二千円増えています。

困難な財政事情のなかで特に消費的な経費は極力おさえ、住民福祉の向上、町行政の基盤づくりに重点的に計上しております。

一般会計の各款毎の収入支出の状況および各性質別(使いみち)の状況等は次の図表をみて戴きます。

- (1) 議総民衛勞農商土消教災公予
- (2) 会務生
- (3) 生
- (4) 生
- (5) 働
- (6) 業
- (7) 産
- (8) 工
- (9) 木
- (10) 防
- (11) 育
- (12) 復
- (13) 債

